

登録No.
登録名
催吐性リスク
適応疾患
投与スケジュール

S-130
TCHP療法
中等度
乳癌

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	生食注シリンジ	1筒/body		d1	i.v.		採血後ロック用
Rp.2	フェスゴ	初回 IN/body 2回目以降 MA/body		d1	S.C	初回8分以上 2回目以降5分以上	初回は30分間経過観察 忍容性良好なら2回目以降15分経過観察 大腿部のみに投与。前回の部位から少なくとも2.5cm離れた場所に投与
Rp.3	グラニセトロンバック デキサメタゾン ホスネツピタント	100mL/body 4.95mg/body 235mg/body		d1	d.i.v.	30分	輸液総量の1.8倍量を Drip-eyeに設定
Rp.4	ドセタキセル 生食	75mg/m ² 250mL/body		d1	d.i.v.	1時間	粘調度高いため、輸液総量の1.5 倍量をDrip-eyeに設定
Rp.5	生食	100m L /body		d1	d.i.v.	全開	カルボプラチン前後 フラッシュ用
Rp.6	カルボプラチン 生食	AUC6 250mL/body		d1	d.i.v.	1時間	
Rp.7	ジーラスタボディーポッド	3.6mg/body		d1	s.c.		
Rp.8	生食注シリンジ	1筒/body		d1	s.c.		プライミング用

1クルールの期間
その他
(副作用・PS規定等)

3週間

注意： Phesgoが前回の投与日から6週間以上空いた時は、改めて初回投与量で投与。
PS： O-1

開始基準： PMID:21991949参考
Neutr≥2000/mm³、Plt≥10万/mm³、Hb≥10g/dL、T-Bil≤1×ULN、AST・ALT≤2.5×ULN
ALP≤5×ULN、Scr≤2mg/dL、1.6mg/dL≤Scr<2mg/dLの場合はCcr≥60mL/min

フェスゴ： PMID:33357420参考
中止基準： LVEF≥50%でベースラインからのLVEF低下≤20%→投与継続
LVEF≥50%でベースラインからのLVEF低下>20%→投与継続（3週間以内にLVEF再評価）
LVE<50%でベースラインからのLVEF低下<10%→投与継続（3週間以内にLVEF再評価）
LVE<50%でベースラインからのLVEF低下≥10%→投与延期（3週間以内にLVEF再評価）
→再評価後LVE<50%でベースラインからのLVEF低下≥10%→中止
再評価後LVE≥50%でベースラインからのLVEF低下<10%→投与再開

副作用： infusion reaction、発疹、注射部位反応、心不全、骨髓抑制、FN、悪心、口内炎、味覚異常、
下痢、便秘、脱毛、浮腫、HFS、末梢神経障害、倦怠感、間質性肺炎など